

東邦大学医療センター大森病院 ふたごホットラインのご案内

03-5763-6779 (24 時間対応・胎児治療担当の医師へ直接連絡できます)

当院では、下記の疾患に対する胎児治療を行っています。

- ✓ 双胎間輸血症候群 (twin-twin transfusion syndrome; TTTS)
- ✓ selective IUGR (sIUGR)
- ✓ 双胎貧血多血症 (twin anemia-polycythemia sequence; TAPS)
- ✓ 無心体双胎 (twin reversed arterial perfusion sequence; TRAP sequence)
- ✓ 三胎妊娠の TTTS, sIUGR, TAPS, TRAP sequence
- ✓ 胎児胸水・胎児水腫
- ✓ 胎児貧血
- ✓ 胎児頻脈性不整脈

ご参考資料

胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術の治療適応基準

双胎間輸血症候群 (TTTS) の場合

妊娠 16 週～28 週

羊水過多 (最大羊水深度 MVP $\geq 8\text{cm}$) と羊水過少 (MVP $\leq 2\text{cm}$) が存在する

(妊娠 26 週以降は、最大羊水深度 $\geq 10\text{cm}$)

Selective IUGR の場合

妊娠 16 週～26 週

- ・小児 (smaller twin) の推定体重が $\leq -1.5\text{SD}$ もしくは両児間の体重差が $\geq 25\%$
- ・小児 (smaller twin) に以下を認める

羊水過少 (最大羊水深度 MVP $\leq 2\text{cm}$) および臍帯動脈血流異常

※上記の適応基準を満たさない症例に関しても、個別に対応いたします。判断に苦慮する場合はご相談ください。

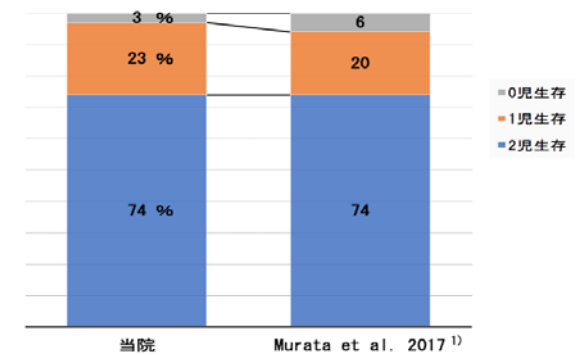
当院での胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術の治療成績について

対象：MD 双胎 55 例 (TTTS 42 例, sIUGR 13 例) 期間：2015 年 12 月 - 2017 年 12 月

結果	
治療施行週数中央値	21.4 週 (16.0-29.0 週)
術中母体合併症	0 / 56 例 (0%)
分娩週数中央値 [※]	34.3 週 (25.9-38.1 週)
治療から分娩までの期間 [※]	81 日 (30-147 日)
流産	1 / 56 例 (2%)
早産 [※]	37 / 46 例
28 週未満	3 例 (7%)
28 週以降 32 週未満	8 例 (17%)
32 週以降 37 週未満	26 例 (57%)
少なくとも 1 児の生存 [※]	45 / 46 例 (98%)
全出生児における神経学的後遺症 (生後 28 日時点)	1 / 74 例 (1%)

※妊娠継続中、流産例、分娩転帰が不明な症例を除く

当院と文献報告の TTTS 治療成績の比較



治療に関するご相談は、[ふたごホットライン 03-5763-6779](tel:03-5763-6779) へご連絡下さい

万が一、上記で連絡が取れない場合、以下へご連絡下さい。

患者さんご本人からのお問い合わせには対応しておりません

【 中田雅彦 長崎澄人 鷹野真由実 】